

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧											正規化				エラーチェック						
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記し レベル	繰返 回数	説明	注意	留意例	非留意例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
7	Rights Holder	権利者情報	jpcoar:rightsHolder			R	D-N	作成者および著者以外の著作権保持権情報を記入する。		<jpcoar:rightsHolder> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName></jpcoar:rightsHolder>		rights	xml:lang属性は切り捨てる。								
7.1	Rights Holder Name Identifier	権利者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	D-N	権利者を一筆に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID) 、 30413925 (e-Rad) 、 0000000378057894 (ISNI)) 。 nameIdentifierScheme に ID を識別するスキーマ名を以下の総称語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakerhi - Ringgold - GRID.	jpcoar:nameIdentifierの値は総称語彙の情報を付与し、IDのみを記入する。 jpcoar:nameIdentifierSchemeを記入する場合、必ず nameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad_Researcher NRID (非推奨) ORCID ISNI VIAF AID kakerhi (非推奨) Ringgold GRID (非推奨) ROR			①全角 -> 半角					①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照)	
			nameIdentifierScheme		FALSE	M	1	nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/0000000378057894 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF)) 。													
			nameIdentifierURI		FALSE	R	D-1														
7.2	Rights Holder Name	権利者名	jpcoar:rightsHolderName		TRUE	R	D-N	記述方法はjpcoar:creatorName (作成者姓名) に準じる。		<jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName>									①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。 (語彙別表参照)		
8	Subject	主題	jpcoar:subject		TRUE	MA	D-N	外観名自己記入の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja-Kana" subjectScheme="Other">ジョウホウカ シャカイ</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">007</jpcoar:subject> 件名の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndsh/01009109">社会科学</jpcoar:subject>	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合 subjectSchemeは"Other"を指定する。各言語コードの jpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。	研究データの分野が「人文・社会」の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="e-Rad_field">人文・社会</jpcoar:subject> <jpcoar:subject xml:lang="en" subjectScheme="e-Rad_field">Humanities & Social Sciences</jpcoar:subject>											
			subjectScheme		FALSE	M	1	subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない (例: https://id.ndl.go.jp/auth/ndsh/00575529) 。	著者共通研究開発管理システム (e-Rad) の研究分野 (注) : https://www.e-rad.go.jp/datasets/files/bunya_bunya.csv	研究データの分野が「自然科学一般」の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="e-Rad_field">自然科学一般</jpcoar:subject> <jpcoar:subject xml:lang="en" subjectScheme="e-Rad_field">Natural Science</jpcoar:subject>											
			subjectURI		FALSE	MA	D-1														
9	Description	内容記述	datacite:description		TRUE	MA	D-N	コンテンツの内容を必ず詳細に記述する。データについては、技術的な情報、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。 descriptionTypeには以下の総称語彙から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract"を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other	datacite:descriptionを使用する場合、必ずdescriptionTypeを指定する。各言語コードのdatacite:descriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。	<datacite:description xml:lang="ja" descriptionType="Abstract">国立情報学研究所が提供する「利用リポ ジトリサービス」 JAIRO Cloudは、いまやAIRO Cloudを基に日本の機関リポジトリを隠れなくごまかす とされている。本稿では、このAIRO Cloudについて、主としてシステム基盤の構築について論ずる。 JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は継続性が強力で発展性が高いことにある。 JAIRO Cloudの特徴を地域 リポジトリと比較し、現在の取り組みを紹介していく。 ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 晴、加藤 賢士、高橋 菜奈子、山崎 一祐。システム基盤としてのAIRO Cloud。 大学図書館研究、 2016, vol.103, p.9-15. ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 晴、加藤 賢士、高橋 菜奈子、山崎 一祐。シ ステム基盤としてのAIRO Cloud。 大学図書館研究、 2016, vol.103, p.9-15.	descriptionTypeを省略してはならない。 <datacite:description xml:lang="ja">国立情報学 研究所が提供する「利用リポ ジトリサービス」 JAIRO Cloudは、いまやAIRO Cloudを基に日本の機関リポジトリを隠れなくごまかす とされている。本稿では、このAIRO Cloudについて、主としてシステム基盤の構築について論ずる。 JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は継続性が強力で発展性が高いことにある。 JAIRO Cloudの特徴を地域 リポジトリと比較し、現在の取り組みを紹介していく。 ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 晴、加藤 賢士、高橋 菜奈子、山崎 一祐。システム基盤としてのAIRO Cloud。 大学図書館研究、 2016, vol.103, p.9-15.		description	xml:lang属性は切り捨てる。	①全角 -> 半角 (英数字のみ) (要義) ②全角 -> 半角 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 ②xml:lang属性のみ非登録になる ③subjectSchemeが存在しない。 ④subjectSchemeの語彙に存在しない。 ⑤subjectSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。 (語彙別表参照)			
			descriptionType		FALSE	M	1														
10	Publisher	出版者	dc:publisher		TRUE	R	D-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体を記入する。名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。個人名については「姓,名」とする。前書きは記入しない。 jpcoar:publisherDescription、dndi:location、dndi:publicationPlaceを記入する場合は、jpcoar:publisherを使用する。	名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。個人名については「姓,名」とする。前書きは記入しない。 jpcoar:publisherDescription、dndi:location、dndi:publicationPlaceを記入する場合は、jpcoar:publisherを使用する。	<dc:publisher xml:lang="en">Elsevier</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">日本物理学会</dc:publisher>		publisher	xml:lang属性は切り捨てる。							①xml:langが語彙に存在しない。 ②xml:lang属性のみ非登録になる	
11	Publisher Information	出版者情報	jpcoar:publisher			O	D-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体に関する情報を記入する。	名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。	<jpcoar:publisher> <jpcoar:publisherName xml:lang="ja">株式会社</jpcoar:publisherName> <jpcoar:publisherDescription xml:lang="ja">印刷</jpcoar:publisherDescription> <dndi:location xml:lang="ja">東京</dndi:location> <dndi:publicationPlace>3P</dndi:publicationPlace></jpcoar:publisher>											
11.1	Publisher Name	出版者名	jpcoar:publisherName		TRUE	O	D-N	略称ではなく正式名称を記入する。 jpcoar:affiliationを使用する。 役職等の補助的な情報はjpcoar:publisherDescriptionに記入する。 jpcoar:publisherDescription、dndi:location、dndi:publicationPlaceを記入する場合は、本項目を入力することを推奨する。	略称ではなく正式名称を記入する。 jpcoar:affiliationを使用する。 役職等の補助的な情報はjpcoar:publisherDescriptionに記入する。 jpcoar:publisherDescription、dndi:location、dndi:publicationPlaceを記入する場合は、本項目を入力することを推奨する。	<jpcoar:publisherName xml:lang="en">Elsevier</jpcoar:publisherName> <jpcoar:publisherName xml:lang="ja">日本物理学会</jpcoar:publisherName>										①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	
11.2	Publisher Description	出版者注記	jpcoar:publisherDescription		TRUE	O	D-N	コンテンツの出版者に関して、付記事項がある場合に記入する。	各言語コードのjpcoar:publisherDescriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。	<jpcoar:publisherDescription xml:lang="ja">印刷</jpcoar:publisherDescription> <jpcoar:publisherDescription xml:lang="ja">四・五編</jpcoar:publisherDescription>										①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	
11.3	Publication Place	出版地	dndi:location		TRUE	O	D-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を記述する場合に使用する。	地名コードはdndi:publicationPlaceに記入する。各言語コードのdndi:locationの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入しよ。	<dndi:location xml:lang="ja">東京</dndi:location>										①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	
11.4	Publication Place (Country code)	出版地 (国名コード)	dndi:publicationPlace		FALSE	O	D-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を国名コードで記入する。 ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。各言語コードを記入しない。出版地に関する国名コード以外の情報はdndi:locationに記入する。	<dndi:publicationPlace>JP</dndi:publicationPlace>										①語彙に存在しない。	

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧												正規化				エラーチェック				
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記し レベル	繰返 回数	説明	注意	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化mgなし	正規化mgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
12	Date	日付	date:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はW3C Date and Time Formats で規定する形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM-DDThh:mm:ssZD, YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sTZD) で記入し、日付の範囲はRMS-ISO8601で規定する形式で記入する。dateTypeは以下の強制語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	発行日 <date:date dateType="Issued">2015-10-01</date:date> エンバーゴ終了後の利用開始日 <date:date dateType="Available">2016-01-01</date:date> 日付の範囲がある場合 <date:date dateType="Collected">2004-03-02/2005-06-02</date:date>	dateTypeを省略してはならない。 <date:date>2015-10-01</date:date> 不明な年を記入してはならない。 <date:date dateType="Issued">19--</date:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	date		①全角 -> 半角 ②日付の正規化			①dateTypeが存在しない。 ②dateTypeの語彙が存在しない。 ③W3C Date and Time Formats, RMS-ISO8601で規定される形式であるかのチェック。 ④MM-DDの妥当性チェック。(周年のみ)	①accessRights=embargoed access のとき、dateType=Available のdate属性が存在しない。		
13	Date Literal	日付 (リテラル)	dc:terms:date		TRUE	O	0-N	コンテンツの作成、発行等のライフサイクルに関連する日付をリテラルに記入する。 date:date (日付) には、最終された方法により記録された日付情報を入力する。本項目では、最終された方法で記入することができない情報をリテラルに記入し、補充することができる。	出版年をdate:date (日付) に記入する。 不明な日付を置き、date:date (日付) の記入を併せて行うことも推奨する。 コンテンツの内容に関する時間的範囲は、dc:terms:temporal (時間的範囲) に記入する。	日付の年号表示 <dc:terms:date xml:lang="zh-tw">康熙17</dc:terms:date> 日付の範囲の年号表示 <dc:terms:date xml:lang="ja">宝暦年間</dc:terms:date> 干支等による表示 <dc:terms:date xml:lang="ja">寛政壬子</dc:terms:date> 不明な年 <dc:terms:date>19--</dc:terms:date>	西暦紀年を補記する。 <dc:terms:date xml:lang="ja">享和3 (1803)</dc:terms:date>			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非推奨になる)			
14	Language	言語	dc:language		FALSE	R	0-N	コンテンツ本文で用いられている主な言語を記入する。ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロラジの使用は任意とする。	コンテンツ本文が英語 <dc:language>eng</dc:language> コンテンツ本文が英語と日本語 <dc:language>eng</dc:language> <dc:language>jpn</dc:language>	ISO 639-1は推奨しない。 <dc:language>ja</dc:language> 1語彙に複数の言語を記入しない。 <dc:language>engjpn</dc:language> 大文字や全角文字を使用しない。 <dc:language>JPN</dc:language> <dc:language>en g</dc:language> 言語を記入しない。 <dc:language>日本語</dc:language> 国名を記入しない。 <dc:language>US</dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:language>en_US</dc:language>	language		①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換		①語彙に存在しない。				
15	Resource Type	資源タイプ	dc:type		FALSE	M	1	コンテンツの種類を資源タイプ語彙表から選択して記入する。rdf:resourceには各強制語彙に対応するCOAR Resource Type (https://vocabularies.coar-repositories.org/resource_types/) のURLを記入する。	学術雑誌論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</dc:type> 紀要論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">departmental bulletin paper</dc:type> 博士論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db06">doctoral thesis</dc:type> データセットの例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_ddb1">dataset</dc:type> 記事の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">article</dc:type>	resourceタイプ語彙表参照	type		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①要素がない。 ②語彙に存在しない。(資源タイプ語彙表参照) ③doctoral thesisのとき、NDL博士論文種別チェックへ(別項)					
16	Version	バージョン情報	date:version		FALSE	O	0-1	データの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号"マイナーバージョン番号"の形式で記入することができる。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcar:relation (関係情報) に@バージョンとの関係性を記述する。論文のバージョン情報についてはoaire:version (出版タイプ) を使用する。	<date:version>1.2</date:version>	バージョンに番号以外の文字列を記入してはならない。 <date:version>ver 1.2</date:version>		①全角 -> 半角		①[0-9]+*[0-9]+以外の形式である。 ([数字][ピリオド][数字]が組み合わさればエラー)					
17	Version Type	出版タイプ	oare:version		FALSE	MA	0-1	論文のバージョン情報を記入する。以下の強制語彙から選択して記入する。 - AD: Author's Original - SMUR: Submitted Manuscript Under Review - AM: Accepted Manuscript - P: Proof - VOR: Version of Record - CVOR: Corrected Version of Record - EVOR: Enhanced Version of Record - NA: Not Applicable (or Unknown) rdf:resourceには各強制語彙に対応するCOAR VersionURIを記入する。	学術雑誌論文 (査読後、最終的に出版社に変更された原稿) の場合 <oare:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_ab4f68893e57aa">AM</oare:version> 出版社版の場合 <oare:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_970f48045b8a85">VOR</oare:version>	AD SMUR AM P VOR CVOR EVOR NA	type		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①語彙に存在しない。	①dc:type=journal articleのとき、oare:versionが指定されていない。				
18	Identifier	識別子	jpcar:identifier		FALSE	M	1-N	コンテンツを識別するユニークなIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: http://doi.org/10.18926/AMQ/54590 (DOI) http://hdl.handle.net/2115/64495 (HDL) http://oasclib.okayama-u.ac.jp/ja/54559 (URL)) 。 identifierTypeは以下の強制語彙から選択して記入する。 - DOI HDL - URL	リポジトリコンテンツの自身のIDを記入する。学術雑誌論文の出版社版等のDOIはjpcar:relation (関係情報) に記入する。JALC DOIを登録する場合は、jpcar:identifierTypeはjpcar:identifierTypeに記入する。JALCまたは"Crossref"を選択した場合、jpcar:identifierTypeはDOIにDOIをHTT P URL形式で記入する。jpcar:identifierTypeはJALC.Cのデータ連携のIDに使用される。	<jpcar:identifier identifierType="HDL">http://hdl.handle.net/2115/64495</jpcar:identifier>	DOI HDL URL	identifier		①全角 -> 半角		①要素がない。 ②identifierTypeが存在しない。 ③identifierTypeの語彙が存在しない。 ④URL形式チェック ⑤jpcar:identifierRegistrationがあるとき、[prefix]/[suffix]が一致しない。	①jpcar:identifier@identifierType="DOI"が存在するとき、同じ[prefix]/[suffix] jpcar:identifierRegistrationに入力されていない。 ②jpcar:identifierRegistrationが異なるとき、[prefix]/[suffix]が一致しない。			
19	Identifier Registration	ID登録	jpcar:identifierRegistration		FALSE	MA	0-1	JALC等へIDを登録する場合、記入する。 identifierTypeには登録するサービス (DOI登録の場合はRegistration Agency) を以下の強制語彙から選択して記入する。 - JALC - Crossref - DataCite - PMID (現在不使用)	リポジトリコンテンツの自身のIDはjpcar:identifier (識別子) に記入する。"JALC"または"Crossref"を選択した場合、jpcar:identifierTypeはDOIにDOIをHTT P URL形式で記入する。jpcar:identifierRegistrationはJALC.Cのデータ連携のIDに使用される。	URLスキーム"info:doi/"、"doi:"は使用してはならない。 <jpcar:identifierRegistration identifierType="JALC">info:doi/10.1594/WOCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcar:identifierRegistration> DOIのURL表記は使用してはならない。 <jpcar:identifierRegistration identifierType="JALC">https://doi.org/10.1594/WOCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcar:identifierRegistration>	JALC Crossref DataCite PMID (現在不使用)		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙が存在しない。 ③identifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない (語彙別表参照)。 ④jpcar:identifierRegistrationが存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]を持つDOIが、jpcar:identifier@identifierType="DOI"として入力されていること。 (identifierType="PMID"のときを除く) ⑤ identifierType="JALC/Crossref/DataCite"のとき、JALC DOI形式チェック (別項)。					

JPCOARスキーマ ver.2.0 項目一覧											正規化				エラーチェック								
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返 回数	説明	注意	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化mgなし	正規化mgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング					
20	Relation	関連情報	jpcoar:relation			R	0-N	シリーズ名を有するコンテンツで、シリーズタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。共通の特性を有するデータセットシリーズに属するコンテンツで、データセットシリーズにリンクする場合は、relationType="isSeries"を用いる。著者最終稿から出版物が付したDOIにリンクする場合は、relationType="isVersionOf"を使用する。relationType="isCitedBy"および"Cites"は論文やデータの参考文献において直接的に引用される場合に使用し、relationType="isReferenceOf"および"references"は直接的な引用ではなく情報源として用いられる場合に使用する。	デジタル化資料から原資料へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isFormatOf"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> 研究データから当該研究データを参照した成果論文へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isSupplementTo"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="hdl">https://hdl.handle.net/1912/4965</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> 論文から補綴となった研究データへリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isSupplementedBy"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="hdl">https://hdl.handle.net/1912/4965</jpcoar:relatedIdentifier> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="hdl">https://hdl.handle.net/1912/4966</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation>														
			relationType	FALSE	R	0-1	シリーズ名を有するデータセットシリーズにリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isSeries"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="NCID">BCC03765035</jpcoar:relatedIdentifier> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">新編関方式巻由東時平以下定式有職法</jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation> 原資料からデジタル化資料へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="hasFormat"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.20730/100344422</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> 共通の特性を有するデータセットシリーズにリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isPartOf"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="URL">https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/port/collection/kokubunken</jpcoar:relatedIdentifier> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">総合図書館所蔵古書籍 (国文研デジタル化分) </jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation> リンク先のコンテンツに識別子が無い場合 <jpcoar:relation relationType="isPartOf"> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目標した中・高・大・日本人院生・外国人院生のチームチャレンジによる変遷</jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation>	isSeries isCitedBy Cites isVersionOf hasFormat isPartOf hasPart isReferenceOf references isFormatOf hasVersion isPartOf isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf															
20.1	Related Identifier	関連識別子	jpcoar:relatedIdentifier		FALSE	R	0-1	関連するコンテンツの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: https://doi.org/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2 (DOI))。identifierTypeには以下の識別子から選択して記入する。 ARK - ark:/ - CRID - DOI - HDL - ICNIR - ISSN - J-GLOBAL - Local - PISSN - EISSN - ISSN (非推奨) - NAID (非推奨) - NCID - PMID - PURL - SCOPUS - URL - WOS	対象に識別子が存在する場合は記入が望ましい。jpcoar:relatedIdentifierを記入する場合は、必須。identifierType="NCID"には収録物以外のNCIDを記入し、収録物のNCIDはjpcoar:sourceIdentifier (収録物識別子) を使用する。identifierType="ISSN"を設ける。原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が困難な場合は着て使用する。														
			identifierType	FALSE	M	1	ARK ark:/ CRID CRID DOI DOI HDL HDL ICNIR ICNIR ISSN ISSN J-GLOBAL J-GLOBAL Local Local PISSN PISSN EISSN EISSN ISSN (非推奨) ISSN (非推奨) NAID (非推奨) NAID (非推奨) NCID NCID PMID PMID PURL PURL SCOPUS SCOPUS URL URL WOS WOS																
20.2	Related Title	関連名称	jpcoar:relatedTitle		TRUE	R	0-N	関連するコンテンツのタイトルを記入する。	対象に識別子が存在する場合はjpcoar:relatedIdentifier (関連識別子) に記入する。該当する識別子が存在しない場合には必ず記入する。各言語コードのjpcoar:relatedTitleの出発回数は1回までとする。			relation											
21	Temporal	時間的範囲	dcterms:temporal		TRUE	O	0-N	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。所定のスキーマに従って記入することが望ましい。	各言語コードのdcterms:temporalの出発回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。			coverage											
22	Geo Location	位置情報	datacite:geoLocation			O	0-N	コンテンツを収集した、またはコンテンツの内容の空間的範囲を記入する。	ボックス状の空間的範囲を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationBox> <datacite:westBoundLongitude>-71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude>-68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geoLocationBox> </datacite:geoLocation> 地名を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace> </datacite:geoLocation>														
22.1	Geo Location Point	位置情報 (点)	datacite:geoLocationPoint		FALSE	O	0-1	コンテンツが指す空間の一点を記入する。															
22.1.1	Point Longitude	経度	datacite:pointLongitude		FALSE	M	1	経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。														
22.1.2	Point Latitude	緯度	datacite:pointLatitude		FALSE	M	1	緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。														
22.2	Geo Location Box	位置情報 (空間)	datacite:geoLocationBox		FALSE	O	0-1	コンテンツが指すボックス状の空間的範囲を記入する。															
22.2.1	West Bound Longitude	西部経度	datacite:westBoundLongitude		FALSE	M	1	西部経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。														
22.2.2	East Bound Longitude	東部経度	datacite:eastBoundLongitude		FALSE	M	1	東部経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。														
22.2.3	South Bound Latitude	南部緯度	datacite:southBoundLatitude		FALSE	M	1	南部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。														
22.2.4	North Bound Latitude	北部緯度	datacite:northBoundLatitude		FALSE	M	1	北部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。														

JPCOARスキーマ ver2.0 項目一覧												正規化				エラーチェック							
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	検索回数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	oai_dcへのマッピング	oai_dcへの変換対応	正規化mgなし	正規化mgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング				
31	Dissertation Number	学位授与番号	dndi:dissertationNumber		FALSE	MA	D-1	学位授与番号を記入する。		<dndi:dissertationNumber>甲第5384号</dndi:dissertationNumber>	<p>科研費機関番号 (数字5桁) + [甲>A 乙>B 他>2] + 報告番号の形式 (Junii2 ver 3.0) は推奨しない。</p> <p><dndi:dissertationNumber>15301A5384</dndi:dissertationNumber></p> <p>科研費機関番号 (数字5桁) + [甲 乙] + 第+報告番号+号の形式 (Junii2 ver 3.1) は推奨しない。</p> <p><dndi:dissertationNumber>15301甲第5384号</dndi:dissertationNumber></p>		description	xml:lang属性は切り替える。	①全角 -> 半角								
32	Degree Name	学位名	dndi:degreeName		TRUE	MA	D-N	学位規則で定められている学位の種別と学位の分野を記入する。		<dndi:degreeName xml:lang="en">Doctor of Philosophy in Letters</dndi:degreeName> <dndi:degreeName xml:lang="ja">博士 (文学)</dndi:degreeName>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)					
33	Date Granted	学位授与年月日	dndi:dateGranted		FALSE	MA	D-1	学位授与年月日を入力する。日付はISO-8601で規定する次の3形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) で記入する。		<dndi:dateGranted>2016-03-25</dndi:dateGranted>					①全角 -> 半角	①日付の正規化		①YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ②MM-DDの妥当性チェック。(周年含む)					
34	Degree Grantor	学位授与機関	jpcoar:degreeGrantor			MA	D-N	学位授与機関の情報を記入する。		<p>共同大学院の場合は、学生の籍がある大学を最初に記入し、繰り返して記入する。</p> <p><jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja"> 東京女子医科大学 学芸部大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor></p>	<p>共同大学院をひとつのjpcoar:degreeGrantor<記入することは推奨しない。> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja"> 東京女子医科大学 学芸部大学</jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor></p>												
34.1	Degree Grantor Name Identifier	学位授与機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	D-N	学位授与機関を一意に識別する科研費機関番号を記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeには"kakenhi"を記入する。		<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameIdentifier>	<p>e-Read NRID ORCID ISNI VIAF AD kakenhi ISNI Ringgold GRID</p>	description	xml:lang属性は切り替える。	①全角 -> 半角				①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeが語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別参照)					
34.2	Degree Grantor Name	学位授与機関名	jpcoar:degreeGrantorName		TRUE	MA	D-N	学位授与機関の名前を記入する。学位授与機関名の語彙情報<xml:lang>のjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。		<jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">岡山大学</jpcoar:degreeGrantorName> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreeGrantorName>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)					
35	Conference	会議記述	jpcoar:conference			R	D-N	会議情報を記入する。		<p><jpcoar:conference> <jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName> <jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence> <jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> <jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue> <jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace> <jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry> </jpcoar:conference></p>													
35.1	Conference Name	会議名	jpcoar:conferenceName		TRUE	R	D-N	会議名を記入する。		<jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:lang が存在しない				
35.2	Conference Sequence	回次	jpcoar:conferenceSequence		FALSE	R	D-1	会議の回数を記入する。		<jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence>													
35.3	Conference Sponsor	主催機関	jpcoar:conferenceSponsor		TRUE	R	D-N	会議を主催する機関名を記入する。		<jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:lang が存在しない				
35.4	Conference Date	開催期間	jpcoar:conferenceDate		TRUE	R	D-1	会議の開催日 (属性) と表示用の開催期間 (値) の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。		<jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate>													
			startDay	FALSE	MA	D-1	会議の開催日 (属性) と表示用の開催期間 (値) の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。																
			startMonth	FALSE	MA	D-1	会議の開催日 (属性) と表示用の開催期間 (値) の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。																
			startYear	FALSE	MA	D-1	会議の開催日 (属性) と表示用の開催期間 (値) の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。																
			endDay	FALSE	MA	D-1	会議の開催日 (属性) と表示用の開催期間 (値) の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。																
			endMonth	FALSE	MA	D-1	会議の開催日 (属性) と表示用の開催期間 (値) の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。																
35.5	Conference Venue	開催会場	jpcoar:conferenceVenue		TRUE	R	D-N	会議の開催場所はjpcoar:conferenceVenueに記入する。各言語コードのjpcoar:conferenceVenueの出現回数は1回までとする。		<jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)					
35.6	Conference Place	開催地	jpcoar:conferencePlace		TRUE	R	D-N	会議の開催地はjpcoar:conferenceCountryに記入する。各言語コードのjpcoar:conferencePlaceの出現回数は1回までとする。		<jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace>					①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)					
35.7	Conference Country	開催国	jpcoar:conferenceCountry		FALSE	R	D-1	会議の開催国を記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。	<jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry>					①全角 -> 半角 ②英大文字			①ISO 3166-1 alpha-3形式になっていない。(語彙に存在しない)					
36	Edition	版	dndi:edition		TRUE	O	D-N	主に図書資料の版に関する情報を記入する。		<p>一般書籍の例 <dndi:edition xml:lang="ja">改訂新版</dndi:edition> 和訳書の例 <dndi:edition xml:lang="ja">訳注版</dndi:edition> 漢籍の例 <dndi:edition xml:lang="ja">寛政34年序書刻本の影射</dndi:edition></p>									①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)		
37	Volume Title	巻名	dndi:volumeTitle		TRUE	O	D-N	多巻物の共通のタイトル(巻タイトル)をdc:titleに記入した場合、各巻の巻名はここに収める。一つの巻次行が複数にわたって行われる時、その巻又は巻に付けられた巻名もここに収める。巻次・部編番号の入ちも可能とする。各巻物のタイトル及びその他の関連する情報。又は逐次刊行物の部編名に収める場合は、日本語の三三三"Ja-Kana"または"Ja-Latin"を使用し、それぞれ収める。ローマ字で記入する。また、目次を記入する場合は目次とは別にxml:lang="ja"にした情報を必ず記入する。	最大出現回数は定めず、一つの情報源が複数の巻名を持つ場合は巻名を繰り返して、それらを全て収める。部編名の一部に図書的情報を記述することを許容する。部編名の巻次・部編番号と、デジタル化した単位で付された巻次・部編番号の記載が混在する可能性があるが、双方許容してよい。	<dndi:volumeTitle xml:lang="ja">近畿.△2 三書・和歌山・大阪・兵庫</dndi:volumeTitle> <dndi:volumeTitle xml:lang="ja-Kana">キン.△2 ミエ ワカヤマ オオサカ ヒョウゴ</dndi:volumeTitle>						①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				

